

記入要領

2021 年度 新潟県立看護大学看護研究交流センター地域課題研究 研究計画書作成・記入要領

看護研究交流センター

研究計画書様式 2-②は、新潟県立看護大学看護研究交流センター（以下「センター」略）の地域課題研究費の交付を申請しようとする者が、あらかじめ当該研究計画に関する概要を記入し、センター長あてに申請するものであり、地域課題研究費助成金審査の資料となるものである。

下記の点に留意した上で、指定された研究計画書様式を使用し、共同研究者である本学教員の指導の下、作成すること。所定の様式の改変は認められない。

なお、審査の結果は「地域課題研究費助成金決定」をもって通知する。

研究のメンバー・テーマ・方法等の申請内容に変更があった場合は、速やかに申請内容変更届様式 3 と研究計画書（申請内容変更届用）を提出すること。なお、研究のテーマ・方法の変更内容によっては変更が認められない場合がある。

記

注意

研究メンバーは新潟県内の看護職と本学の教員で構成する。申請代表者は新潟県内の看護実践に携わる看護職とし、本学の教員（教授、准教授、講師、助教のいずれか）を共同研究者とする。申請できる研究テーマ数は 1 件に限るものとする。

1. 「学内責任者」は 1 名とし、研究メンバーに複数の本学教員がいる場合も同様とする。
2. 「所属」欄には、研究計画書作成時点での所属・職を記入する。
3. 「研究経費」の欄には、研究計画に基づいて、使用内識別にそれぞれ記入し、総計を記入する。予定予算を下回することは可能だが、上回することは認められない。
4. 各経費内訳の明細は、地域課題研究オリエンテーション後、資料を参照の上、項目ごとに「必要とする理由」とともに研究遂行のための経費として算出根拠を明確にする。但し、旅費は申請額全体の 6 割を超えない範囲とする。
5. 研究採択後止む無く、研究を中断せざるを得ない場合は、地域課題研究辞退届様式 4 を提出する。なおこの場合、これまでに掛かった研究経費を含む全額を返金するものとする。